



宮崎県 大山食品株式会社

『柚子調味料（マーシー）を世界へ』

【主な品目】

柚子調味料（マーシー）

【主な輸出先国・地域】

アメリカ、オーストラリア、EU等（全10カ国）

【輸出取組の概要】

- ◆ 平成27年からヨーロッパ、アメリカの展示会へ出展し、アメリカでは20万本の試験販売を受注。
- ◆ 平成29年には、販売に必要なISO22000の認証を取得し、輸出販売をスタート。
- ◆ 令和5年にFSSC22000の認証を取得し、販路拡大へ。

【輸出実績】（平成27年度より輸出開始）

	輸出額(万円)	出荷時期
令和5年度	9,346	通年
令和4年度	11,651	
令和3年度	8,224	

【効果があった取組】

- ・国内外の展示会・商談会に参加。
- ・商品コンセプトを固めた上で、ボトルやラベル、ロゴ等を新たに考案し、和英併記の商品チラシやウェブサイトを作成。

【取り組む際に生じた課題】

- 1 約30年前、輸出商社を通じて、アメリカ向けに玄米黒酢の輸出を開始したが、自社で営業活動を行っていなかったこともあり、平成18年以降は、ゼロに近い水準になった。
- 2 アジア市場では、すでに輸出している大手企業との価格競争に陥る。

【生じた課題への対応】

- 1 シェフと共同で醸造酢に柚子や唐辛子を加えたスパイシー調味料「マーシー」を開発。
- 2 香港や上海の展示会・販売会への参加や、シンガポール・台湾等での販売促進活動を推進。

【対応の結果】

- 1 アメリカのフードショー（平成28年）に出展し評価を得て、アメリカ大手スーパーから大口（試験販売）のオーダーが入る。
- 2 アジアでは価格交渉が難しく、契約に至ることが出来なかったため、ドイツ・アメリカへの販路を開拓。

【今後の課題・展望】

- 1 令和7年までにアメリカの「マーシー」取扱店を10,000店舗に拡大する（現在1,500店舗以上）。
- 2 年間80万本程度（現状）を安定的に輸出できるように、新規輸出先国の販路開拓を目指す。

【活用した支援・施策】 R2補正の「輸出先国の市場変化に対応した食品等の製造施設等整備の緊急支援事業」、R2～R3 中山間地域フードビジネス海外輸出支援事業を活用

【ウェブサイト】<https://www.ohyamafoods.co.jp>

【連絡先】担当者名： 大山 綾夏 TEL：0985-77-1630



輸出の主力商品
柚子ホットソースマーシー



海外展示会